

# 議会だより

## 第3回定例議会

平成20年第3回西粟倉村議会定例会を、9月18、19日に開会しました。

今議会は、例月出納検査報告、健全化判断比率、資金不足比率報告、一般質問、教育委員会人事案件、条例の一部改正、補正予算、決算認定が提案され、原案どおり可決されました。

### 報告

- ◇例月出納検査
- ◇平成19年度健全化判断比率報告
- ◇平成19年度資金不足比率報告

### 可決した議案

#### 《人事案件》

- ◇西粟倉村教育委員会委員  
河野 朝美（新任）

生年月日 昭和44年5月10日生  
住所 西粟倉村長尾九六一番地

任期 平成20年10月1日～

平成24年9月30日

#### 《条例の一部改正》

- ◇議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例
- ◇議会議員の報酬の特例に関する条例
- ◇西粟倉村特別職報酬等審議会条例

例

- ◇認可地縁団体の印鑑登録及び証明に関する条例
- ◇西粟倉村老人いこいの家設置及び管理に関する条例

#### 《補正予算》

- ◇平成20年度一般会計
- ◇平成20年度国民健康保険事業勘定特別会計
- ◇平成20年度国民健康保険施設事業勘定特別会計
- ◇平成20年度西粟倉村老人保健事業特別会計
- ◇平成20年度西粟倉村介護保険事業勘定特別会計

- ◇平成20年度簡易水道事業特別会計

- ◇平成20年度西粟倉村観光事業特別会計

#### 《決算認定》

- ◇平成19年度西粟倉村一般会計
- ◇平成19年度西粟倉村国民健康保険事業勘定特別会計
- ◇平成19年度西粟倉村国民健康保険施設勘定特別会計
- ◇平成19年度西粟倉村老人保健事業特別会計
- ◇平成19年度西粟倉村介護保険事業勘定特別会計
- ◇平成19年度西粟倉村介護サービス事業勘定特別会計
- ◇平成19年度西粟倉村簡易水道事業特別会計
- ◇平成19年度西粟倉村農業集落排水事業特別会計
- ◇平成19年度西粟倉村観光事業特別会計

### 一般質問

#### 西粟倉村の村有林民有林について

#### 草刈議員

材木の低価格が続いています。

それがゆえに山林に対して感心が無くなり、手入れが行き届かない現状です。今こそ、行政が先頭になって先行投資すべき時期が来ています。人工林はほったらかしにしていると、自然や動物の生態系に支障があると思います。

#### 道上村長

5千haの人工林、将来も森づくりを離れて村を語ることはできないと考えております。特に、約1haの採草地払い下げで小さな林業経営ができました。村民あげて挑戦した山への思いが、今大崩壊をしております。樹齢45年以上の樹林は、助成金が困難になりつつあります。村にとって木の文化を高めることが村の生き様であり、次世代にバトンタッチできると確信をしております。

9月補正予算で計上した上質な田舎づくり事業、100年の森づくり事業は、木の文化を高め、継承することであります。今後10年周期で村が管理委託を担い、集団間伐で生産コストを落とすことを考え



資の優先課題であります。

### 草刈議員

前向きなお考えと受けとめました。間伐はもちろんですけど、川の本流は比較的開けていますが、谷川はすべて死んでいる状態で、もう少し広く開け、自然な環境にすればいい。原生林にはまだイワナがおります。村の指導でできるように努力していただきたいんですけど、その辺はどうでしょうか。

### 道上村長

ております。国の事業と組み合わせながら、搬出間伐・切捨て間伐等を繰り返す体系づくりを急いでおります。はがらし乾燥、認証材のモデル住宅、体験宿泊を通じて西栗倉ファンを作っていくことが、観光施設全体の活性化に繋がると確信しておりますので、時間がかりますけれども、挑戦し続けたと考えております。当然、製材所、大工さん等々、小さな経済行為等も巻き込んでいくことが必要と考えております。財政状況の厳しい中、集中と選択で、森づくりと木の文化を育むことは、財政投

数年前、西栗倉村森づくり条例を作りました。生産林と共生林と自然林に区分していくと。山の8合目から上は切捨て間伐をやつて、自然空間を作っていく、谷間もそういう視点で。山の裾野などコストの低い山林は、搬出間伐をしていくと。中腹については、キャリア道くらいで共生林を作つていくという視点がございます。私も佐湖の谷で育ちました。その頃は、ヤマメが握れるくらい沢山おつたという記憶がございます。

環境対策も含めて対応していくことが西栗倉の上質な田舎、森づくりにをアピールできると考えております。

### 草刈議員

村に委託して手入れをしてもらうと、森林組合が主導権をとると思うんですけど、村の個人事業主が今まで通り商売ができる状態になりますか、その辺お伺いしたいのですけど。

### 道上村長

ご指摘の通り、参入も懸案だと思います。森林組合に頑張つていただくのは当然と思いますが、200〜300haの切捨て、搬出間伐の思いを持っておりますので、森林組合だけでは対応できないと考えます。健全で優秀な山への思いを持った人材を育てていくことは、長期的にみて大切だと考えております。

### 草刈議員

なんとか良き方向に行くようによろしく願いしたいと思います。

## 旬の里の今後について

### 岸本議員

旬の里は赤字が何年も続いております。これから先景気も悪くなり、厳しい面が多くみられると思います。旬の里を少しでも長く持たせ、続ける為にも、利益率の悪いものは中止し、かわりの物を検討すべき時が来た。もう後が無いと考えられます。

### 上山公社事務局長

旬の里については、当初から赤字が続いています。社員数も、パートも含めて半分まで下げているのが、売上もそれに伴い下がっていく状況です。

利益率について、旬の里の中は、レストランの飲食部門、野菜・売店部門、うどん・おもち・味噌など加工部門と、大きく3つに別れており、昨年の決算は飲食部門が△1千2百万円、加工部門と売店部門がそれぞれ△1千万円です。

ただし、人件費はレストランの人員が売店応援に行ったり時間単位

でシフトしますので、売店・加工品の人件費がもう少し膨らんでいるのが現実です。各部門は、ほぼ平均して赤字が出ているとご理解をいただいたらと思います。

もう1点は、例えば、加工品の部門を廃止すると、元々旬の里が設置された時のコンセプトを変えらることになりますので、赤字だけで判断できない部分があるのも事実です。地産地消を進めておりますが、その部分も切り捨てるとなると、コンセプトを再定義をする必要が出てくると考えられます。

### 岸本議員

旬の里とあわくらんどの食料と食費の割合を比べてみますと、旬の里が20年6月累計で57%、あわくらんどが36%、差額が20%ほどあります。売店関係は、両方似たような比です。一番問題は食事じゃないかと思えます。村長の初心表明の中に、西栗倉は田舎らしい物をモットーでなければというところで、旬の里が一番しやすい施設だと思えます。例えば、

今春テレビ放送で「やたら漬け」が田舎料理として紹介され、電話で食べたいという話があったように聞いています。こういう田舎らしい物を作ってほしいという考えがあります。

### 上山公社事務局長

ホテルのバイキングなどはカスケード方式といひまして、食材を何段かに使っているので食材比率は大幅に下がりますが、旬の里は、現状ではレストランでしか対応していませんので、若干単品メニューのレストランに比べて原材料比率が上がるのはやむを得ない部分か



あります。ただ、先ほどご指摘がありましたように、57%は3ヶ月間の短期間なので、現在見直し作業中で、最終的には昨年まで落としたと考えています。

それから、なるべく地元の料理を再現した物も出しておりますが、一般料理もないと、「草ばっかり食わせるんか。」というご意見もありません。肉・魚など原価を考

えながら対応しています。もう1点、旬の里で問題なのが、全体売上に対してレストランの売上比率が高すぎることです。あわくらんどは、売店の売上が全体の6〜7割で3割が食料売上という配分です。旬の里は、もう少し売店を売っていく改善に挑戦したんですけれども、半年間では成果が出ていないのが現実でございます。

### 岸本議員

バイキングを止めるといふ考えは持っておりませんか。

### 上山公社事務局長

現状、公社としてはオープン時

のコンセプトの中で経営をやつていくのが原則ですので、今、レストランを変える具体的なものは持ちあわせていません。

### 道上村長

全村民、議員さんが公社等の問題を心配をいただいております。ありがたいと思っております。11年6月にオープンして以来、ずっと厳しい環境でございます。最高責任者として、責任を強く感じております。バブルが崩壊し、地域社会もどつと縮小したこと、地域の人口も10年間で100人減っております。広域行政、農協合併、郵便局再編など、地域経済が非常に傷んでおり、ご心配の状況が続くと、腹をくくつとかなないといけないなと思っております。バイキングは、これまでずっと話しておりました。姫鳥道があいて、事業を継続していくことになれば、選択肢を持たないといけないと思えます。お客さんが選べるスタンスをとり続けることも、非常に大切な要因だと思います。ご指摘の田舎らしい地





域資源を活用していくことに尽き  
ると思っております。長期的に公  
営施設が厳しい環境でございます  
ので、財務体質等々鑑みながら、  
健全な方向に皆様のご意見をいた  
だきながら持っていくしかないと  
考えております。

### 岸本議員

一般会計から赤字補填され、村  
民に影響が出ないように頑張っ  
ていただきたいということ、これ  
から先一般会計から次々入ること  
になれば、色々問題が多くなると  
思いますので、頑張ってください。

## ゴミ・環境問題について

### 國里議員

ゴミの減量化はしなければなり  
ません。また、津山総合ごみ処理  
センター稼働後の運営費は、持込  
み量で負担が決まると聞いていま  
す。環境と費用の両面から、ゴミ  
の減量化は強力に推進する必要が  
あることから、特に割合が多い生  
ゴミに対して、今年度予算には生  
ゴミ処理機やコンポスト容器に購  
入補助金制度が設けられています。  
また、化学製品焼却から出る発  
ガン物質や、古い農薬や液状の薬  
品など、処分の仕方によっては環  
境を悪化させ、最終的に我々や下  
流の人の体内に蓄積する恐れがあ  
ります。①生ゴミ減量化のための  
新購入補助金制度開設から半年、  
その状況と今後の取り組みについ  
て②何年か一度農薬や薬品を回  
収する仕組みや家庭医療ゴミを回  
収する仕組みを考えてみてはどの  
でしょうか。

### 大上産業建設課長

生ゴミ処理機の状態ですが、半

額補助、上限3万円にしましたが、  
今のところゼロです。コンポスト  
は3件ございました。これも半額  
補助で上限5千円補助させていた  
だいています。

農薬・薬品等は、農協が回収さ  
れている実績がございます。今年  
も10月末回収予定と聞いています。  
家庭医療ゴミですが、在宅療養さ  
れとる患者さんが、かかっている  
医療機関に針とかを持っていくと、  
そこが廃棄することになっていま  
す。西栗倉診療所でも該当の方が  
おられますが、持って来られた物  
を保管しておいて、診療所等の医  
療ゴミと合わせて衛生センターに  
処理委託しています。

### 國里議員

生ゴミ処理機補助実績ゼロは残  
念な結果です。今後の取り組みの  
答弁は、ほとんど力強いものがな  
かったんですけど、ゴミを減量す  
れば地球環境にいいし、将来コス  
トもかからなくていいことを、村  
長が先頭に立って取り組んでいた  
だいたいと思います。

それと、農薬ですけど、農協で  
処理してくれるとか、村が回収す  
る仕組みを作れば、不法投棄も少  
しは減ると思います。家庭の医療  
ゴミは、診療所に持ってくれば処  
理しますよと。医療ゴミは専門家  
の意見を聞いてやっていただきたい  
と思います。

### 道上村長

環境問題全般につきまして、大  
きな課題だと思えました。小さな  
村の命綱になるかと思えます。行  
政がいくら補助をしても中々使っ  
ていただけないので、広報等を通  
じて積極的に展開をしてみたい  
です。津山広域ゴミ協議会が26年か  
ら開くまでに最終焼却ゴミを3分  
の1に減らす目標設定することで、  
先々日も家庭ゴミにどういう物が  
出て、分別可能かを調査・分析し  
ていますので、結果を受けて住民  
に周知徹底したいと考えています。  
医療ゴミ等々については、不法  
投棄がないような仕組みが必要に  
なってくると考えますので、十分  
配慮し可能性を見出ししていきます。